

医薬事業 臨床開発品目一覧（2014年1月30日現在）

<自社開発品>

開発番号 (一般名)	想定する 適応症/剤形	作用機序		開発段階	備考
JTK-303 (elvitegravir)	HIV感染症 /経口	インテグラーゼ阻害	HIV(ヒト免疫不全ウイルス)の増殖に関わる酵素であるインテグラーゼの働きを阻害する	単剤 国内:申請準備中	自社品
				新規配合錠 (elvitegravir/cobicistat/ emtricitabine/tenofovir alafenamide) 国内:Phase3 国際共同治験*	Elvitegravirは自社品 他3成分は導入品 (Gilead Sciences社)
JTT-851	2型糖尿病 /経口	GPR40作動	グルコース依存的にインスリン分泌を促進し、高血糖を是正する	国内:Phase2 海外:Phase2	自社品
JTZ-951	腎性貧血 /経口	HIF-PHD阻害	HIF-PHDを阻害することにより、造血刺激ホルモンであるエリスロポエチンの産生を促し、赤血球を増加させる	国内:Phase2 海外:Phase1	自社品
JTE-051	自己免疫・アレルギー疾患 /経口	ITK阻害	免疫反応に関与しているT細胞を活性化するシグナルを阻害し、過剰な免疫反応を抑制する	海外:Phase1	自社品
JTE-052	自己免疫・アレルギー疾患 /経口	JAK阻害	免疫活性化シグナルに関与しているJAKを阻害し、過剰な免疫反応を抑制する	国内:Phase1	自社品
JTE-151	自己免疫・アレルギー疾患 /経口	ROR $\gamma$ アンタゴニスト	Th17細胞の活性化に中心的な役割を担うROR $\gamma$ を阻害し、過剰な免疫反応を抑制する	海外:Phase1	自社品
JTE-350 ** (ヒスタミン二塩酸塩)	アレルギー皮膚テスト実施時の陽性コントロール/注射剤	ヒスタミン受容体アゴニスト	皮内のヒスタミン受容体に作用し、検査部位の皮膚に膨疹および発赤反応を誘発させる	国内:Phase3	導入品 (ALK社) 鳥居薬品と共同開発

(注) 開発段階の表記は投薬開始を基準とする

\*Gilead Sciences社の国際共同治験に参画

\*\*厚生労働省主催の「医療上の必要性の高い未承認薬・適応外薬検討会議」において開発企業の募集が行われた品目

<導出品>

一般名等 (当社開発番号)	導出先	作用機序		備考
elvitegravir (JTK-303)	Gilead Sciences社	インテグラーゼ阻害	HIV(ヒト免疫不全ウイルス)の増殖に関わる酵素であるインテグラーゼの働きを阻害する	(適応: HIV感染症) 単剤 米国 申請中 新規配合錠 (elvitegravir/cobicistat/emtricitabine/tenofovir alafenamide) Phase3
trametinib	GlaxoSmithKline社	MEK阻害	細胞増殖シグナル伝達経路に存在するリン酸化酵素MEKの働きを阻害することにより、細胞増殖を抑制する	(適応: メラノーマ) 欧州 申請中 (適応: メラノーマ dabrafenib併用) 欧州 申請中
抗ICOS抗体	MedImmune社	ICOSアンタゴニスト	T細胞の活性化に関与しているICOSの働きを阻害し、免疫反応を抑制する	

前回公表時(2013年10月31日)からの変更点

<自社開発品>

・リオナ<sup>®</sup>錠250mg(JTT-751)につき、製造販売承認を取得(2014年1月17日)

<導出品>

・JTK-303 (elvitegravir)につき、Gilead Sciences社が欧州EMAより承認取得を公表(2013年11月18日)

・MEK阻害剤trametinib/dabrafenib併用療法(転移性メラノーマ適応)につき、GSK社が米国FDAより適応拡大承認取得を公表(2014年1月9日)